



絆 ~Kizuna~

2学期を迎えて…

約40日間の夏休みがあつという間に終わりました。振り返ってみると、星稜高校の甲子園の大活躍が一番心に残った夏だったな~と感じます。みなさんにとっての中学校の初めての夏休みは、宿題や部活動があり小学校より大変だったと感じる人が多かったようです。たくさんの量の宿題を計画的に取り組みながら海、祭り、旅行などのイベントを楽しみ、充実できた人は良かったですね！

令和最初の最高の体育祭！！

日ごろの頑張りで行いが良かったため、晴天に恵まれた中で令和最初の体育祭がありました。中学生としての初めての体育祭であまりイメージがわからないながらも、ひたすらダンス練習に励み、委員会活動では担当種目の用意をし、大変頑張ってくれたと思います。当日も、運営面では初めてだからといって迷惑をかけることもなく、てきぱきと働いていました。またプレー面では、練習では10回も跳べなかった大縄を先輩に優しく教えてもらい20回以上跳べるようになったり、綱引きでは重要な一番後ろを任せ勝利に貢献したり、玉入れでは体を反らしながらグラウンドいっぱい響く声で数えたり…たくさんの素晴らしい姿を見せてくれました。最後の勝敗の結果に涙する姿もあったという話も聞きました。1年生らしく何事にも全力で頑張ってくれた姿を大変誇りに思います。保護者の皆様におかれましては、草刈りや当日の温かい応援、玉入れのご参加、最後の片づけなど協力していただき誠にありがとうございました。

体育祭後の終礼では、生徒会の先輩たちの姿について話をしました。2年後、この15人が中心となって創りあげる体育祭がとても楽しみです。体育祭を通して培った力をこれからの学校生活でいかしてくれることを期待しています。また、次の大きな行事文化祭も「計画的」「自主的」「協力的」に頑張りましょう。

【感想より】

体育祭を終えて僕は思ったことが2つあります。1つ目は、練習の大切さです。ずっと練習を重ねてきたけれど少し不足した所などがありました。けれどやっぱり練習してできたことにはすごく意味があったなと体育祭当日に分かりました。2つ目は準備の大切さです。最初は何をするかわからなかったけれど、準備をして1つ1つ終えていくことでしっかり準備をしてよかったと思えたからです。これからはいつでもこの2つのことを大切にして日々の生活を送りたいと思いま

初めての体育祭を終えて、思ったことがありました。それは先輩についてです。先輩の2年生と3年生の人たちは、競技のポイントや内容を丁寧に教えてくれたり、リードしてくれたり初めての体育祭で分からない所をわかりやすく説明してくれ、先輩たちのすごさを改めて感じました。私も来年の1年生に同じようにできたらいいなと思いました。また、委員会活動も教えてくれたり、一緒に行こうと呼んでくれたりしてくれて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

一番心に残った競技は応援合戦だ。練習の時から上達が遅く同じ失敗を繰り返りしていた。でも、本番では失敗をおそれずに楽しく踊ることができた。

今回の体育祭で一番頑張ったことは応援です。声を出しすぎて午後には声が出ませんでした。結果は負けてしまったけどいい体育祭になりました。

初めての体育祭で全員で協力して全力プレーができたなと思いました。応援合戦では、練習の時よりもチームが1つになって楽しんでダンスをおどれたなと思いました。

一番印象に残っているのは綱奪いでした。男子や小畑先生からの言葉を聞き、やってやる、という気持ちでいったら勝つことができ、頑張ったかいがありました。また、男子にもほめられて嬉しかったです。

